

シリーズパソコン周辺機器 ③  
「プロジェクター」

————— 宮杉 浩 27

## 図書館員の文献紹介

名作再読、拾い読み (29)

『喪服の似合うエレクトラ』(1)  
 (“*Mourning becomes Electra*”)  
————— 小澤 文彦 28

日本の歴史40

『唐物の文化史：舶来品からみた日本』  
————— 稲垣 宏行 29

Book Review Corner ————— 30・31

## シェイクスピア生誕450周年特集

シェイクスピア生誕450周年記念稀観書展示会 — 32

シェイクスピアを巡る謎と私の妄想  
————— 瀬川 綾子 33

好奇心ふくらむシェイクスピア  
————— 内田 晃弘 34

シェイクスピアに関わった2人のジョンソン  
————— 清水 実和 35

1978年に本学図書館が刊行した所蔵目録  
『ウィリアム・シェイクスピア—作品と参考文献—』  
————— 36

シェイクスピアの作品と信じられたがそうでなかったもの  
————— 37

本学図書館のスペシャル・コレクションより (39)  
「シェイクスピアの作品が混乱した話」  
————— 奥 正敬 38・39

## 図書館利用案内

ライブラリー・カレンダー 2014 (10月～12月)  
————— 40

## ●本誌の表紙に使われた貴重書

「シェイクスピア生誕450周年特集」

「豆本」で作られたシェイクスピア全集



*The Works of William Shakespeare*  
40 vols. London, [n.d.]  
『シェイクスピア全集』

なんと小さな本でしょう。万年筆と比べて下さい。

これはイギリスの文豪ウィリアム・シェイクスピア (1564-1616) の作品全集です。形態は縦が5センチ、横が3.4センチからなっており、愛書家には「豆本 (Miniature Books)」と言われて親しまれてきたものです。

彼の全集は没後7年後の1623年に刊行された「ファースト・フォリオ」とよばれる『戯曲全集』をはじめとして、その後も数多く作られてきました。しかし、これほど小さなものは珍しく、豆本であって、なおかつ「珍本」と見なされています。

シェイクスピアは生涯に37タイトルの戯曲と2・3の詩集を残したと言われており、この40冊からなる豆本全集にはその全てが含まれています。ヨーロッパでは伝統的に聖書や辞書が豆本になってきましたが、シェイクスピアの作品がこの形で刊行されていることは、彼の業績の大きさを象徴しています。

元々は、いつでも、どこでも読める座右の書物を目的とした豆本ですが、この全集は文字も小さく、読書の限界に挑んだ出版物といえるのではないのでしょうか。

小さな書物の大きな価値を、この秋に開催する「シェイクスピア生誕450周年」記念展示会でぜひお確かめください。

(萩)

(32～39頁に関連記事)